

HAPS



ANNUAL
REPORT

HIGASHIYAMA
ARTISTS
PLACEMENT
SERVICE

2021

339 YAMAZAKI-CHO, HIGASHIYAMA-KU, KYOTO 605-0841, JAPAN

T 075 525 7525 F 075 525 7522

EMAIL info@haps-kyoto.com <http://haps-kyoto.com>

HAPS

事業報告書 2021年度



コロナ禍が引き続いた2021年、HAPSでは大きな動きがありました。これまでHAPSオフィスにほど近い元新道小学校にあったHAPSスタジオが元楽只小学校に移転となりました。それに伴って、公募を行いフレッシュな6組のアーティストが新たにスタジオを拠点に制作を開始しています。また、HAPS HOUSEのある京都駅周辺においてもSW/ACを中心にいくつもの取り組みが同時並行して進められました。HAPSの活動がより面的な拡がりを持ち、様々な波及効果を地域にもたらし始めた一年と言えるかもしれません。

「新しい日常」の中で、それでもアートは人や社会にとって切実に必要なものでありうるかどうか。人々の分断や気候温暖化などの世界的な変化に対して、文化芸術はどのような役割を果たせるのか。あるいは高齢化や財政難など、京都のみならず日本全体が抱えるであろう課題に芸術家はどう向き合うのか。こういった大きな問題意識を持ちながら、一つ一つ着実にHAPSは進んでいきます。皆様のご支援とご協力を心よりお願いいたします。

遠藤水城 (えんどう みずき / HAPS 実行委員長)



HAPS
HIGASHIYAMA
ARTISTS
PLACEMENT
SERVICE

ABOUT HAPS

HAPSとは

東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス(HAPS)は、
芸術家と芸術を支える人のためのよろず相談所です。

この困難な時代に生きる芸術家たちを支えること。それは、「美術」という一つのジャンルを守るのではなく、私たちの社会全体の豊かさを維持し、さらに新しい可能性を開いていくことに繋がります。多くの芸術家がそこに住まい、生活している街。あるいは逆に、そこで暮らしている人間が芸術家

になりうる、芸術家でありうる街。切実な表現、独創的な作品、かけがえのない営為が多くの人に見られ、共有されている街。HAPSは、個人の生き方と社会のあり方を組み替え、文化芸術が最大限のポテンシャルを発揮できる環境を京都市に作り出すことを、その目標としています。

MISSION

ミッション

芸術家支援

京都在住の芸術家たちの居住・制作・発表を包括的に支援する

地域創造

芸術家たちの創造性を京都市の活力へと繋ぐ

ネットワーク形成

国内外の芸術機関と多様な協力体制を構築する

イノベーション活動

新たな芸術のあり方と、新たな社会のあり方を共に探求する

HAPSが主催する事業についてはP4~をご参照ください。

HISTORY

沿革

2007年 京都市「京都文化芸術都市創生計画」の策定、「若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり」事業の計画

2009年 「若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり」事業の調査を開始

2011年 「東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス(HAPS)実行委員会」設立。HAPS オフィスを東山区六原にオープン

2012年 HAPS制作スタジオ(元新道小学校)使用開始

2019年 「東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス(HAPS)実行委員会」事務局を法人化し、一般社団法人HAPSを設立

2020年 HAPS HOUSEを南区東九条にオープン、「Social Work / Art Conference」開設

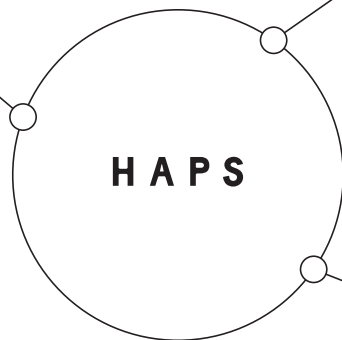
2021年 HAPS制作スタジオを北区の「ふれあい共生館」へ移転

ORGANIZATION

HAPSの組織図

東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス(HAPS)実行委員会

HAPSの事業実施における方針決定機関として、年に2回の実行委員会を行い、予算の使途や事業の内容を協議、決定します。実行委員長はキュレーターの遠藤水城。実行委員メンバーは京都市の芸術系大学の教員、地域活動の担い手、美術の専門家などで構成されています。



一般社団法人 HAPS

2019年に実行委員会の事務局を発展させて設立された法人です。芸術家支援活動の実施主体として、実行委員会で決定されたHAPSの実務を担います。また、芸術家と芸術を支える人のための相談窓口として、随時相談を受け付けています。

アドバイザー

HAPSの事業について、外部有識者からの視点でアドバイスをしています。

LOCATIONS

HAPSの拠点

HAPS オフィス

芸術家と芸術に関わる人の基本の相談窓口として、また展示スペース、イベントスペース、事務所として機能しています。HAPS オフィスは、祇園の南側にある閑静な住宅街、京都市東山区の六原学区に位置します。やきものが盛んで、多くの職人が現在も制作を続けています。この学区は古くから住む人々によってふれあいのあふれる町である一方、高齢化が進み、空き家が増加しているなどの問題があり、それを解決するための活動も活発にされています。HAPSはそういった活動の一部の役割も担っています。

〒605-0841 京都市東山区大和大路通五条上る山崎町339 電話：075-525-7525



HAPS HOUSE

主に「Social Work / Art Conference」の拠点として、相談窓口や交流の場所としての役割を担っています。また展示スペース、レジデンスとしての機能も有しています。

HAPS HOUSEは、京都駅の南側、南区東九条に位置します。多様な文化が息づきながらも、人口の減少や隣接する崇仁地区への京都市立芸術大学移転がせまり、大きく環境を変えようとしている街で、新たな表現が誕生する場としてこれからも歩んでいきます。

〒601-8004 京都市南区東九条東山王町1 電話：075-748-8575



HAPS スタジオ

初代のスタジオは、2012年から東山区の元新道小学校6教室を利用して運営していました。これまで15組のアーティストがスタジオを使用し、国内外で活躍する才能を多数輩出してきました。現在は、北区元楽只小学校を利用した複合施設「ふれあい共生館」内の6教室を利用して、アーティストに制作の場所を提供しています。スタジオの利用者は公募によって決定され、アーティストは最長3年、広い空間を利用して制作に集中することができます。

〒603-8226 京都市北区紫野西舟岡町2



HAPSの事業展開

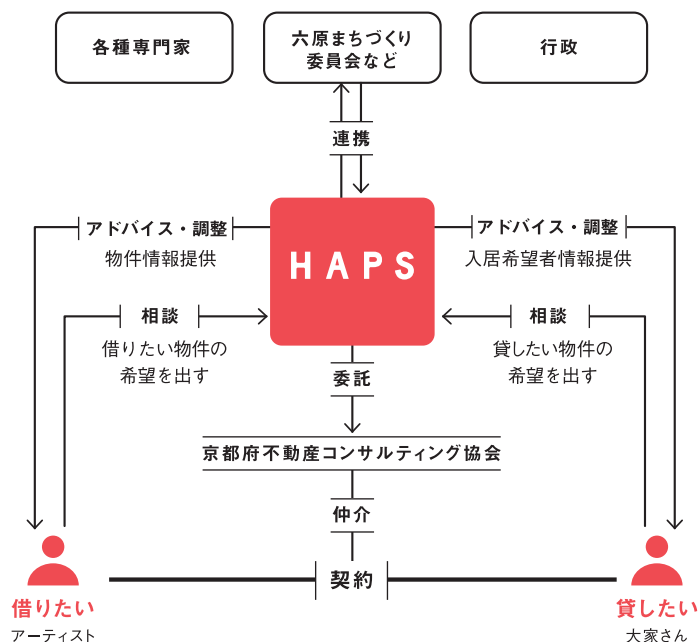
HAPSの芸術家支援事業とは？

HAPSの芸術家支援は、相談から生まれています。

さまざまな立場の方からの相談や、地域の課題をきっかけに、多様な支援事業へと展開しています。

物件マッチング

京都市で活動する芸術家には空き物件を、大家さんには入居希望のアーティストをマッチングします。制作・居住環境を探す芸術家の希望と、借り手を探す大家さんからの物件情報を集約し、両者の間をつなぎます。



相談例
少しぐらい汚してもいい物件が欲しい！
借り手のつかない物件を活用してほしい！

キュレーター招聘

京都を拠点に制作活動を行う若手芸術家を紹介するために、国内外より第一線で活躍するキュレーターを招聘し、スタジオビジットやトークイベントなどのプログラムを開催します。この出会いを機に芸術家が企画展に出展したり、国際的なアートシーンについて知るきっかけにもなります。

相談例

自分の作品を専門家に見て欲しい！京都で活動している作家にはどのような人がいるのか知りたい！

→P.11

→P.03 / 07

HAPSのオフィス・スタジオ

HAPSにはオフィス・HAPS HOUSE・スタジオの3拠点があります。オフィスは一般社団法人HAPSの、HAPS HOUSEは「Social Work / Art Conference」の拠点です。いずれも事務所であると同時に展示スペースや交流の場所としても機能しています。

また、元小学校を利用した総合施設「ふれあい共生館」の6教室を、アーティストの制作スタジオとして活用しています。

相談例

とにかくHAPSに相談したい！集中して制作に取り組める、広いスタジオが欲しい！

地域との取り組み

京都市内の行政や地域団体などの要請で、地域の行事や活性化のためにアーティストによるワークショップなどをコーディネートします。芸術家への仕事コーディネートや発表の場づくりにもつながります。また、年間行事などを通して、オフィスやスタジオが位置する地域との顔の見える関係を築いています。

→P.15

芸術家×仕事

芸術家だからこそ、できることがある。これまでに培ってきた芸術家や専門家のネットワークを活かし、芸術家に仕事を依頼したい方と芸術家のマッチングを行なっています。芸術家への「仕事」の依頼という支援が、新たな創造に結びつくことを期待しています。

相談例

駅前の音楽噴水をリニューアルしたい。音楽の選定とプログラミングをできるアーティストはいないか？

相談例

福祉の実践にアートを取り入れたい。ノウハウや興味を持ってくれるアーティストを紹介してほしい。

→P.17

共生社会に関する取り組み

多様な背景をもつ人々が共に生きやすい社会の実現を目指し、芸術の特性を活かした様々な取り組みを実施しています。先進事例の調査、普及活動を行うとともに、モデル事業での実践、相談事業「Social Work / Art Conference」などを通じ、芸術が社会の状況へどうアプローチし、力を発揮できるのかを考えています。また事業を通じて人材の育成もめざしています。

相談例

支援施設でアート活動をしている。展示やワークショップの方法について相談したい。

OUR SCHOOL

みんなで学ぶ、
教える、共有する。

HAPSでは、あらゆる人に開かれた学校「OUR SCHOOL」を開校しています。場所は、HAPS オフィスの1階。誰もが生徒にも先生にもなれ、知識や経験、技術を共有していく開放された学校を目指しています。「生きるために表現すること」と「生きることが表現であること」。このふたつを自由に往復することが私たちの生存につながります。



※2021年度はCOVID-19拡大の影響により開催がありませんでした。

HAPS WEB

相談受付のほか、
情報コンテンツも提供。

あらゆる人からの物件や仕事、その他よろず相談をウェブサイトの相談フォームから受け付けています。誰でも気軽にアクセスできるウェブサイトが、直面している問題を解決する第一歩となります。他にも、京都市内の幅広いジャンルの展覧会・イベント情報をバイリンガルで提供する「ART Picks」、国内外の情報を集約した「公募・助成・レジデンス」、貸しギャラリーや空きスタジオ情報など、アートに関わる、アートに興味があるあらゆる人のための情報を提供しています。



HAPS WEB

<http://haps-kyoto.com/>



相談フォーム

<http://haps-kyoto.com/support-proposal/>

HAPS PRESS

芸術と社会の関係を実験的に考察していくためのウェブマガジン。

HAPSの活動の前提となる条件や事柄を再考し、それをHAPSの活動に還元する役割を持っています。リサーチ、インタビュー、エッセイ、レビューなどが、アーティストや研究者、専門家、市民など様々な立場の人々によって構成されています。「アーティストとは?」、「社会にとってのアートとは?」、「アートをサポートするとは?」という命題が複数の切り口から検証され、それが公開されています。このサイトは、HAPSの活動が常に反省と対話を必要としていることの表れであり、同時に社会一般に広く「アート」をめぐる状況と問題が共有されることを目指しています。



HAPS PRESSでは展覧会レビューを募集しています。

http://haps-kyoto.com/press_writer/

専門的である必要はなく、独自の観点でレビューを書いていただける方を広く求めています。まずは、京都市内で見つめた展覧会のレビューを800字で書いてHAPSまでお送りください。

主催事業

HAPS スタジオ

京都を拠点に活動していく美術系アーティストのために、元小学校の教室を利用した制作スタジオを提供、運営しています。2012年12月から使用した東山区にある元新道小学校は2021年3月をもって運営を終了し、2021年4月から、

元小学校の教室で、
制作に励む。

元楽只小学校(京都市北区)を活用した複合施設「ふれあい共生館」内にスタジオを移転しました。移転に際しては「ふれあい共生館」6教室を活用し創作活動を行う美術分野のアーティストを公募し、現在6組のアーティストが活用しています。

元楽只学校跡地を活用した複合施設

(愛称：ふれあい共生館)とは

京都市では、楽只小学校と紫野小学校の統合に伴い、2019年3月に閉校した元楽只小学校の跡地活用について、「子育て・人権・文化芸術の拠点」として、複合施設を整備することとしました。楽只学区全体のまちづくりの観点から、北いきいき市民活動センター、ツラッティ千本、京都市楽只児童館、京都市楽只保育所を移転整備するとともに、元新道小学校から、HAPSスタジオおよび天才アートKYOTOアトリエが移転し、「ふれあい共生館」として開設する運びとなりました。



VOICE



石角美帆
楽只児童館

2021年5月にふれあい共生館でのお仲間となったHAPSさん。実は、移転前の3月にも「新しい施設のお祝い」をテーマにアーティストの谷澤紗和子さんに子どもたちとモビール作りをしていただきました。ただ新しい施設への飾りだけではなく、参加する児童の様子や楽只児童館のポリシー、歴史なども丁寧に丁寧に聞き取り、下見に何度も訪問して下さったスタッフさん。とても嬉しかったです。当日谷澤さんにはキャリア教育の一環として『アーティストという職業』について子どもたちにご紹介いただきました。そんな素敵なご縁でスタートしたふれあい共生館の新施設。2階のHAPSさんを子どもたち・職員一同、モビール作ったよねと親しみをもち、ハロウィンや乳幼児クラブのクリスマス会、地域の独居高齢者宅への配食活動などに快く参加していただきました。今後とも、子どもたちの五感をたくさん刺激していただける新たな取り組みを一緒に行いたいとおもいます。よろしくお願いいたします。

スタジオ使用者紹介

USER 01

禹歩(うほ)

三枝愛(みえだ あい)、振子びじん(ねじびじん)、島貴泰介(しまぬき たいすけ)によるユニット。2019年より『アンティゴネー(仮)』制作に向けた、葬送儀礼・墓跡と大逆事件関連史跡リサーチと実践のためのプロジェクトとして活動。リサーチの過程で新たに出会った事物をリサーチや作品制作のための要素とすることで、拡張的な活動を展開している。

VOICE

リサーチコレクティブを名乗る私たち「禹歩」は、3人それぞれの活動をひとつに編むことよりも、それぞれがバラバラなまま非同期的に進むことを現時点では重んじている。コロナ禍はこのバラバラさをいっそう加速させたが、楽只地域にスタジオを持ったことで、各自の制作やリサーチの途中で必ず立ち寄り、経験をシェアするための「中継地」ができたと感じている。島貴は、もうひとつの居住地である別府から京都に戻って思考を整理する場所として。振子は、自身のダンスのためのリハーサルの空間として。三枝は、岐阜県美術館でのグループ展「不在の観測」のための和紙の加工・拓本制作のスタジオとして。いかようにも変化できるように、常に一定の広さが保たれた「開いて閉じる」ための空間だ。



城崎国際アートセンターでのパフォーマンス風景



USER 02

ガブリエ バロンタン(GABELIER Valentin)

1991年フランス生まれ。2015年EESABレンヌ(フランス)美術学校美術研究科修了。2021年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程単位取得退学。パフォーマンス、インスタレーション、サウンド、ビデオ、執筆など、幅広い分野に渡る。その中で主要なテーマは身体と環境、自と他、肉体と言葉を結びつける「声」である。

VOICE

2018年から始めたプロジェクトのために広い制作スペースを探していましたが、京都ではそういう場所がなかなか見つけれなかったのがHAPSのとても広いスタジオに入れて本当に感謝しています。また、サウンドパフォーマンスの練習のために音を遠慮なく出せることも助かります。北向きの窓から山が見えて、南向きの窓から児童館の子供達の声が聞こえて、明るいスタジオで制作することはとても幸せです。来月フランスに引っ越してしまい、その気に入ったスタジオから出ることは勿体無い感じがしますが、1年間色々サポートをしていただき、本当にありがとうございました。

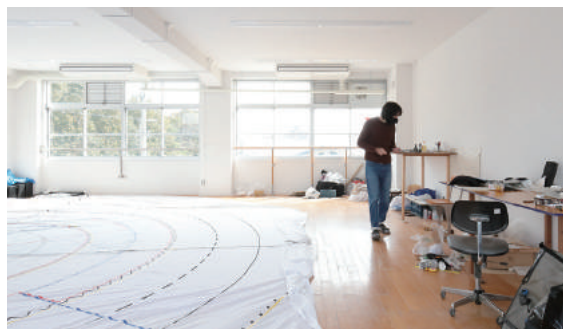


photo: igaki photo studio

スタジオ使用者紹介

USER 03

小林 棕 (こばやし むく)

1992年東京都生まれ。2017年多摩美術大学大学院修士課程情報デザイン領域修了。2019年京都市立芸術大学大学院修士課程彫刻専攻修了。時里充とのユニット「正直」などでライブ活動も行う。

VOICE

大学を出たあと借家の一部を改装して作業場にしていました。HAPSスタジオに入居してからは、生活空間に木屑が積もったり、隣のお婆ちゃんの生活を気にしながら丸ノコを運転させたり、こそこそしながら大きな荷物を出し入れしたりすることはなくなりました。制作のための広い空間で、音を気にせず作業し、校庭にトラックを横付けて搬出します。生活空間から離れた制作環境があることは大学のようにもありませんが、それとは違う独特の距離間があります。廊下から横目に見える他の教室の様子や作業の音。自分以外の誰かが、何かを作っている気配を感じることは、このノルマの無い学校で、何かをしようかなという気にさせてくれているのかもしれない。



USER 04

ヒスロム+和田寛司 (わだ かんじ)

ヒスロム：加藤至 (かとう いたる)、星野文紀 (ほしの ふみのり)、吉田祐 (よしだ ゆう) によるユニット。2009年より活動開始。造成地の探検で得た体験や違和感を表現の根幹に置き、身体を用いて土地を体験的に知るための遊び「フィールドプレイ」を各地で実践、映像や写真、パフォーマンス作品としてあらわす。

和田寛司：1986年京都市生まれ。2008年KASD卒業。2010-2013年一級建築士事務所アルファヴェイル。2013年建築設計事務所ランチアーキテクト設立。建築家。怪談蒐集家。



スタジオ使用者紹介

USER 05

宮木 亜菜 (みやき あな)

1993年大阪府生まれ。2016年にロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アート パフォーマンス専攻に交換留学。2018年京都市立芸術大学大学院修士課程美術研究科彫刻専攻修了。自身が作品の一部となって展示空間に滞在するインスタレーションや、パフォーマンスの形式で作品を発表する。身体を取り巻く力の諸関係の中で自分自身の力を健康的に展開させていく。

VOICE

自分のからだを使った作品制作をしており、パフォーマンスやインスタレーションの形で発表をしています。生活の中の動きや、重たいもの、力の強さ弱さなどに興味があります。制作部屋では、窓を覆ってプライベート空間にしたり、制作に合った自由な動きができるくらい、一人で使える環境が整っています。HAPSスタジオに通い始めて以降、自分の活動に関して声を出して話す機会が増えました。話すことは苦手なことですが、経験を積む中で自分の中での発見もあり、これも大事なことなのだと気付くことができました。夕方スタジオまで聞こえてくる子ども達の元気な遊び声に力をもらって、制作の頑張りをしています。今年の1年間は、過去の作品の振り返りをしつつ、まだ扱っていない素材に触っていきたいと思っています。

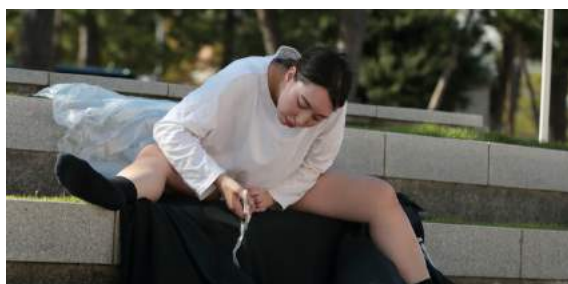


photo: 前谷 剛



USER 06

本山 ゆかり

1992年愛知県生まれ。2015年愛知県立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業、2017年京都市立芸術大学大学院美術研究科美術専攻(油画)修了。ロープ・アクリル板・布など従来の絵画とは異なる素材を用いて、絵画とは何かを探求する作品を制作している。

VOICE

最初にスタジオ見学をした際、こんなに白くて美しい大きな部屋をひとりですべて本当に良いんですか?と思わずにはいられませんでした。陽当たりもよく、気持ちのいい環境で作業が出来て嬉しいです。使用時間が決まっているからこそ、作業に集中して取り込むことが出来ます。そんなに大きな絵を描かないので、家の中でも十分に制作は出来ると思っていたのですが、いざ広い空間で作業してみると全然違いました。汚れを気にせず作業できるので、思いもなかった素材に手を出しやすくなりました。まさか木を彫ることになるとは…。この環境で、自分の制作環境には何が必要なのかを見定めて、今後自分でスタジオを構える際にも役立てていきたいです。



主催事業

キュレーター招聘

近年、展覧会などの企画を行うキュレーターの存在が注目を集めています。しかし、多くの芸術家にとって、キュレーターと直接対話し、知見を交わす機会は限られています。HAPS では、そのような機会を定期的に提供。国内外のキュ

国内外のキュレーターと
京都の芸術家をつなぐ。

レーターが京都の芸術家を知り、京都のアーティストが企画者の求めるものを知る。そこから具体的な展覧会やイベントに発展した事例も生まれています。



2021年度招聘キュレーター

現代美術キュレーター
金澤 韻さん

早稲田大学国際学術院教授
グレッグ ドボルザークさん

VOICE



金澤 韻さん

ふだんは自分でアポをとって一人ずつ訪ねていくスタジオビジット、今回はHAPSが2日間で10組という豪華な日程を組んでくれました。しかもHAPSの視点から作家が厳選されていて、高レベルかつ多様な作家たちに会うことができました。我々現代美術キュレーターにとって、その制作場所で、素材や道具を見せてもらいながら、作品のテーマや最近気になっていることなどを作家から教えてもらうスタジオビジットは、重要なリサーチ活動の一つです。そこで見聞きすることを通して彼らの思考の軌跡を頭と体に入れていきます。この一次資料調査にあたるプロセスがなければ、仕事になりません。今回は特に、私のような海外在住者には得難い機会でした。

VOICE

グレッグ
ドボルザークさん

太平洋諸島に関連する日米帝国の交差や、日本の周縁化されたコミュニティに関する私のリサーチをHAPSと共有する機会を得たことに感謝しています。特に、組織としてのHAPSと、そのネットワークの一部であるアーティストが同様の社会問題に取り組んでいることがわかったので、私にとって有意義でした。HAPSと一緒に京都の端から端まで移動しながらスタジオ訪問を行い、多くのアーティストと彼らの様々な実践を学ぶことは、本当に目を見張るものでした。出会ったアーティストと彼らが創作しているアートの両方に深く刺激を受け、魅了され、将来のコラボレーションの大きな可能性を感じました。

PROJECTS

主催事業

ALLNIGHT HAPS

ALLNIGHT HAPSは、芸術家の作品発表の機会提供と若手企画者の養成を目的として開催している展覧会シリーズです。HAPSオフィスの玄関にある小さな展示空間を使用して、夜6時から朝9時半までの夜間に鑑賞いただくの

若手企画者による、
オフィスでの夜通しの展覧会。

が特徴です。アートの常夜灯として、街の中に作品をひらく独特の空間を活かした作品・展示が生まれています。2021年度はキュレーターの河原功也さんの企画による展示「彼は誰の街に立つ」を開催しました。



これまでに実施した企画についてはアーカイブのページをご覧ください。

<http://haps-kyoto.com/allnight-haps-archive/>



#1 鈴木昭男(pinto 2021)



#2 小川真生樹(今はここです、はいもう見えません)



#3 村上慧(広告収入を消化する)



#4 鬼海弘雄

ALLNIGHT HAPS 2021「^{か たれ}彼は誰の街に立つ」

今回の「彼は誰の街に立つ」で企画者の河原は、他者あるいは世界に対して独自のアプローチを試みる作家を選定しました。ともすれば他者との交流が途絶えかねない昨今にあって、年齢やメディアも様々な作家達とその作品が、夜間ガラスに隔てられたHAPSという場所とその周辺に、それぞれの方法で介

し、あるいは協働を行いました。本年度より、これまで年間2名であった企画者を1名とし、展示の期間もこれまでより長期とすることで、地域や作品に関わる方との密なコミュニケーションが実現し、本企画の新たな側面が垣間見えるものとなりました。



会期：2021年8月1日(日)～2022年2月5日(土)

企画：河原功也

出展作家：

#1 鈴木昭男《pinto 2021》

会期：2021年8月1日(日)～9月11日(土)

#2 小川真生樹《今はここです、はいもう見えません》

会期：2021年9月18日(土)～10月30日(土)

#3 村上慧《広告収入を消化する》

会期：2021年11月13日(土)～12月18日(土)

#4 鬼海弘雄

会期：2021年12月25日(土)～2022年2月5日(土)

展示時間：18:00～9:30(翌日朝)

会場：HAPSオフィス1F(京都市東山区大和太大路通五条上る山崎町339)

主催：一般社団法人 HAPS

支援：2021年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

助成：公益財団法人 朝日新聞文化財団



VOICE



村上慧さん

京都のギャラリーショップ「nowaki」と本屋の「誠光社」、そしてアートユニットの「明和電機」からそれぞれ三万円を広告出稿費として受け取り、HAPSも含めた四者のCMを制作し、私の上半身(裸体)に投影しながら、広告収入で購入した寿司、ピザ、ラーメン、春巻、ハンバーガーなどを食べる様子を撮影する。最終的にHAPS前の道路に向けて、お腹にコマーシャルを投影しながら口をもぐもぐと動かしている私の上半身の映像が上映された。食べているあいだは不思議なことに、食事を楽しむ消費活動というよりは、ほとんど労働をしているような感覚であった。こんな得体のしれないプロジェクトに協賛してくれた皆さま、ありがとうございました。

PROJECTS

関連イベント 01

鈴木昭男「点音」in 六原学区・京都

HAPSがオフィスを構える東山区六原学区にて、アーティストの鈴木昭男さんが街を歩き、ある場所に行んで周辺の音に感覚を開くシリーズ「点音(おとだて)」のポイントを選定。ポイントをマップにし(一部は実際に足のマークを設置)、会場で配布しました。

日時：2021年8月1日(日)～2022年2月5日(土)

場所：あじき路地、他 六原地区各所



関連イベント 02

写真家・鬼海弘雄さんを語る

「彼は誰の街に立つ」の最後を締めくくる鬼海弘雄展は、京都において鬼海作品を紹介する貴重な機会となりました。鬼海と長く親交があった作家のいしいしんじさん、京都を拠点に活動される写真家の吉田亮人さんに、写真家・鬼海弘雄について、また街の風景写真のシリーズについてオンラインで語っていただきました。

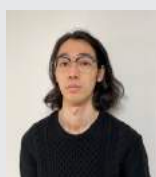
日時：2022年1月23日(日) 16:00～17:00

登壇：いしいしんじ(作家)／吉田亮人(写真家)

進行：河原功也



VOICE



河原功也さん

本展では、新型コロナウイルス等の影響によって容易に外出や遠出ができなくなった現在において、人々が住む「街」への眼差しをテーマに展覧会を組み立てました。人々が活発に動き回るのを止めた時、すぐそこにある街が全く違うもののように見え始めています。出展作家4人の経歴は、世代も出自も大きく異なりますが、すぐ目の前の風景や何でもない些細な事柄に耳を傾けたり、街路の人と協働したり、街の肌理を眼差してきたという点で共通しています。そして本展では、街の中であって直接手で触れることのできない音や光や情報や景色を、作家独自の新たな視点で場につなぎ止め、通りすがりの鑑賞者に会ってもらい取り組みになったと思います。各展示の準備期間中は、さまざまな理由でそこを通り過ぎる人々の反応が直に見えるのも本会場ならではの貴重な体験でした。

主催事業

芸術家 × 仕事コーディネーター事業

芸術家だからこそ、
できることがある。

あらゆる人からの「仕事」の相談と、芸術家のクリエイションの手法・視点が入ることにより、新たな魅力を持ったものが結び、新たなものを生みだすお手伝いをいたします。アート生まれます。

仕事を依頼したい方

ウェブサイトの(<http://haps-kyoto.com/work/>)の「仕事を依頼したい方」のバナーから「仕事情報登録フォーム」に進み、依頼したい内容、契約形態・報酬などを具体的に登録してください。内容をHAPSで審査した上でアーティストに仕事情報を提供します。

依頼を受けたいアーティスト

ウェブサイトの「依頼を受けたいアーティスト」のバナーから「アーティスト情報登録フォーム」に進み、自身の活動のジャンル、プロフィール、作品の概要や活動歴を登録してください。HAPSが仕事の情報提供を受け、該当する情報をお知らせします。実際に仕事を受ける際には、依頼者に直接申込をしていただきます。

2021年度にマッチングした事例

- ・第3回京都文学賞パンフレット・ポスターの制作
- ・京都市立高校紹介パンフレットの制作
- ・京都の文化財保護一般に寄付を募るためのチラシの制作
- ・文化芸術都市創生審議会市民委員募集チラシの制作
- ・菓子店の垂れ幕看板制作 等。

WEB SITE

<http://haps-kyoto.com/work/>



事業のコンセプトとともにアーティストと支援のあり方を巡る考察の場として、様々な方へのインタビューやエッセイを掲載。随時公開していきます。

情報提供の流れ

- 1 HAPSがアーティストの特性を活かせる仕事情報の掘り起こしを行う
- 2 依頼者がHAPSに仕事の情報を提供
- 3 HAPSが仕事内容を確認・審査
- 4 仕事の内容と条件をもとに、HAPSからアーティストに仕事情報を提供
- 5 アーティストが依頼主に直接申込を行う

2021年度の事例 01

京都駅前の音楽噴水 「AQUA FAITASY」のリニューアル

京都駅北口広場を2010年から彩っていた音楽噴水「AQUA FANTASY」。2020年4月以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響等に伴い供用を停止していましたが、「芸術家×仕事コーディネート事業」を活用してリニューアルされました。曲目の選定と噴水のプログラムをアーティストの小松千倫さんと中西真穂さんが行い、2021年12月から公演を再開しました。



VOICE



西前里江子さん
京都市産業観光局
観光MICE推進室
観光おもてなし課長

HAPSさんからご紹介いただいたアーティストの小松千倫さん、中西真穂さんには、京都駅前音楽噴水「AQUA FANTASY」のリニューアルにあたり、新しい演目の追加をお願いしました。

ストーリー性のある選曲、ダイナミックで華麗な噴水の動き、幻想的なスモッグや照明…。

新演目が初めてお披露目されたときの衝撃と感動は、今も忘れることができません。お二人には、水と光と音楽が調和する音楽噴水のポテンシャルを最大限に引き出し、新たな世界を切り拓いていただいたものと、本当に感謝しています。

京都の皆様のみならず、日本中、世界中の沢山の皆さんに、一層魅力を増したこの音楽噴水をご堪能いただけることを願っています。

2021年度の事例 02

京都の企業とアーティストの出会いを創出する 「KYOTO ART TABLE 残す、つなげる、作り出す」の開催

連続と続くモノ・技術の複合的な文化資産を持つ京都。この京都にて文化を引き継ぎ、新しく開いていくプレイヤーである企業・アーティストを紹介し、その可能性を考えるためのトークイベントを開催しました。第1部は鍵善良房15代目当主 今西善也さんと「KYOTO STEAM—世界文化交流祭—」アート・ディレクターの山本麻友美さんをお招きし、文化を「残す、つなげる、作り出す」ことについての対談を行い、第2部では京都を拠点としながら芸術の新しい表現形式を開拓しているアーティストをゲストに迎え、作品や活動についてプレゼンテーションを行いました。

「KYOTO ART TABLE 残す、つなげる、作り出す」

日時：2021年12月3日(金)18:30~20:30

第1部：18:30~ 対談

第2部：19:30~ アーティストプレゼンテーション

会場：Collabo Earth E9 (THEATRE E9 KYOTO 2F)

主催：一般社団法人 HAPS

協力：鍵善良房 / Collabo Earth E9 / THEATRE E9 KYOTO (一般社団法人アーツシード京都)

VOICE



今西善也さん
鍵善良房15代目
当主

このたびHAPSさんが企画した「KYOTO ART TABLE 残す、つなげる、作り出す」で対談をさせていただきました。普段、自分がしている仕事を改めて見直すということはあまりありません。いつものようにお菓子を作って、いつものように売る。自分にとってそんな当たり前のようなことを人の前でお話することで、また改めて見直す良い機会でした。なぜ京都の和菓子屋が小さな美術館をつくるのに至ったのか。それはこの京都でお菓子がいかに愛されて、皆さんの暮らしの中にあって大きな役割をしてきたかということでしょう。たかが菓子、されど菓子。今回もお菓子のおかげでたくさんのご縁を頂いたのに感謝しています。

主催事業

文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業

HAPSは、京都市より2017年度「文化芸術で人が輝く社会づくりモデル事業」、2018年度「文化芸術による共生社会実現のための基盤づくり事業」を受託し、実施しました。この事業は、文化芸術の力を活用して、多様な背景をもつ人々が、共に生きることのできる社会のあり方を探り、その仕組みづくりを目指すものです。2019年度からは、上記事業の成果を引き継ぎ、「文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業」として、HAPSの主催事業として展開しています。

— アートの中で 社会課題に向き合う。

本事業では大きく分けて、普及啓発、モデル事業の実施、相談事業、先進事例のリサーチの4事業を展開しています。本年度は普及啓発として「文化芸術による共生社会実現のためのアーツマネジメント入門」をオンラインで実施。モデル事業としてアーティストの前田耕平による「オープンラボ『かめのま』」を開催しました。相談事業である「Social Work / Art Conference (SW/AC)」は、伴走型支援、情報提供、アウトリーチに取り組み、新たなネットワークや具体化した事業も生まれました。

連続講座

文化芸術による共生社会実現のための アーツマネジメント講座 2021「共生とはなにか」

近年、「共生」ということが、多文化共生、地域共生など様々な場面で聞かれるようになりました。今年度HAPSが実施した連続講座では、「共生とはなにか」を改めて考えることを通じて、アートやアーティストと社会との関係を支える「アーツマネジメント」の理解を深めることを目指しました。文学、映像、美術、研究など異なる分野で活躍するゲストを迎え、ことば、表現、プロセス、実践の広がりなどから、「共生」についての対話を進め、私たちが「共生」をどう捉え、アートと社会との結びつきをつくることのできるのかを考え、新たな実践の参考となる様々な問いが生まれました。

SEMINAR 01 〈ひとり〉と出会うこと

日時：2021年8月27日(金)19:00~20:30
 ゲスト：大川史織(ドキュメンタリー映画監督、文筆家)
 聞き手：小泉朝未(HAPS、Social Work / Art Conference)



SEMINAR 01

©Yudai Furusho



SEMINAR 02

SEMINAR 02 分けない眼差しとつくること

日時：2021年10月30日(土)19:00~20:30
 ゲスト：青木陵子+伊藤存(アーティスト)
 聞き手：藏原藍子(HAPS)



SEMINAR 03

SEMINAR 03 〈ことば〉との距離、〈ことば〉への期待

日時：2021年11月27日(土)16:00~17:30
 ゲスト：いしいしんじ(作家)／モハーチ ゲルゲイ(文化人類学者)
 聞き手：奥山理子(HAPS、Social Work / Art Conference ディレクター)

PROJECTS



モデル事業

招聘アーティスト | 前田耕平

HAPSは「京都市 文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業 モデル事業」として、2019年度より京都駅周辺の崇仁・東九条地域を中心に「多様な人と人がともに生きていく」「世界の中で、人や、人だけでない様々なものが共に生きていく」在り方を、表現を通してアーティストとともに模索しています。

今年度はアーティストの前田耕平を招聘し、京都を流れる高瀬川を起点として実施。前田は、土地を掘り開いて人間が形成し、流れる高瀬川の観察を行い、思考を重ねてきました。3月には、川を糸口に生命が作用し合う連関の中で「共に生きる」あり方を模索した1年間について共有しあう場「オープンラボ『かめのま』」を開催しました。

オープンラボ『かめのま』 前田耕平

定期的に滞在してきたHAPS HOUSEの空間や、この1年間の時間の流れを「甕」に見立て、高瀬川を見つめる多領域な視座を得た取組みを共有する場を開きました。会場では、前田が観察してきたものや、世界の捉え方を共有する装置である甕、点描画、映像などを公開しました。前田は多くの時間を会場や川沿いで過ごし、会期中のさらなる出会いを通じて、時に壮大で時に微小な、川をめぐる複数の視点が新たに立ち現れていきました。

会期：2022年3月5日(土)～3月21日(月・祝)

※会期中の木・金・土・日曜日、祝日オープン

開館時間：13:30～19:00

会場：HAPS HOUSE 入場料：無料

主催・企画・制作：一般社団法人 HAPS

協力：灯商店／梅小路公園 いのちの森／がんこ高瀬川二条苑／菊浜高瀬川保勝会／喫茶アミー／京都市下京いきいき市民活動センター／京都市下京・東部地域包括支援センター／京都市立朱雀第四小学校／崇仁高瀬川保勝会／崇仁デイサービスうのい／崇仁発信実行委員会／崇仁まちづくり推進委員会／高瀬川・四季AIR／銅駝高瀬川保勝会／永松高瀬川保勝会／NPO法人ビオトープネットワーク京都／松村組・要建設JV／柳原銀行記念資料館／立誠高瀬川保勝会

アートコーディネーター：石井絢子 (HAPS)

アシスタントコーディネーター：小泉朝末 (HAPS)

映像記録：中谷利明

写真記録：前田耕平／石井絢子 (HAPS)／小泉朝末 (HAPS)／中谷利明／前瑞紀

フライヤーアートディレクション：見増勇介 (ym design)

フライヤーデザイン：永戸栄大 (ym design)

フライヤー構成・テキスト執筆：石井絢子 (HAPS)／前田耕平



オープンラボ『かめのま』プログラム

かめのくち

「高瀬川からあらゆる世界を交信してみる」としてゲストを招き、かめのまからトークや高瀬川沿いを歩くツアーを繰り広げました。

配信トーク

3月5日(土) 14:00～15:00

ゲスト：前瑞紀(京都市立芸術大学美術研究科絵画専攻構想設計)

※「かめのま」会期中はHAPS HOUSEにて前の作品《こんにちは高瀬川》を展示。

3月11日(金) 16:30～18:30

ゲスト：hyslom/ヒスロム (アーティストグループ)

3月12日(土) 13:00～15:00

ゲスト：柳沢究(建築計画学・京都大学大学院 准教授)

3月13日(日) 16:00～17:00

ゲスト：松波龍源(実験寺院 寶幢寺 僧院長)ほか

3月19日(土) 18:30～20:30

ゲスト：石倉敏明(神話学者・文化人類学者)

高瀬川ツアー+トーク

3月6日(日) 13:00～16:00

ゲスト：エレナ・トゥタッチコワ(アーティスト)

3月10日(木) 13:00～15:00

ゲスト：楊平(地域社会学者・環境社会学者・滋賀県立琵琶湖博物館学芸員)

3月17日(木) 13:00～15:00

ゲスト：田端敬三(近畿大学非常勤講師・京都ビオトープ研究会代表)

3月18日(金) 13:00～15:00

ゲスト：竹門康弘(河川生態学者・京の川の恵みを活かす会代表・京都大学防災研究所水資源環境研究センター 社会・生態環境研究領域 准教授)

3月20日(日) 13:00～16:00

ゲスト：村瀬信/Max(京大大学院理学部岩石学専攻卒業)

PROJECTS



かめのみみ～高瀬川観望会～

その構内に高瀬川が流れることになる、京都市立芸術大学の移転予定地にほど近い川べりにて、夜に星空の観望会と打楽器の演奏会を開催。川や空を眺め、耳をすます機会となりました。

日時：3月21日(月・祝)18:30～19:40
 実施場所：崇仁地域の高瀬川周辺
 ゲスト：谷口かな(打楽器奏者)／小田純之介、篠原えり、松原瑞加、山本峻(京都産業大学神山天文台サポートチーム)



かめのめ～パフォーマンス～

高瀬川にて、甕を持ち運ぶパフォーマンス。甕で水や光や情報をすくっては放出するイメージとともに、会いたい生き物たちと交流しにいきました。



VOICE



前田耕平さん

HAPSさんから「共に生きる」あり方を探るモデル事業の依頼を受けて、改めて誰かの生きる世界について考え始めました。何気なく街を歩き、流れる高瀬川を見たときに、自分が見ている場所から、違う世界への緩やかな繋がりを感じました。この1年間は高瀬川を「生命が棲み繋がる場所」として観察する方法を模索してきました。

高瀬川の植物や昆虫、魚や鳥などの住人の世界から見えてきたものは、人や街と高瀬川の関係性でもありました。HAPS HOUSEを甕型の研究室と仮定し、観察で集めたものを様々な人たちと話し、共有する場(オープンラボ)を開きました。

今後は個人的に、高瀬川を多様な視点で観察する為の生物図鑑の制作を試みていきます。このようなきっかけをくださったHAPSと、大きく尽力くださった全ての方々に感謝しています。

相談事業

Social Work / Art Conference

Social Work / Art Conference (SW/AC) は、アートと共生に関わる様々な分野や活動についての相談を受け付けています。今年度は、人、組織、社会制度の間に働きかける、ソフトインフラの整備というSW/ACのミッションがより明確となった一年でした。

障害者支援、引きこもり支援、若者支援など地域や福祉の分野からは、活動の時間を豊かにする方法や、これまでのアート活動の課題や改善方法について相談を受け、状況の聞き取りと必要な情報提供に丁寧に取り組みました。アーティストからの相談も増加し、ケアや対話に関するプロジェクトが生まれつつあります。また京都市文化芸術総合相談窓口(KACCO)や、アート系ウェブマガジン編集者など人々をつなぐ役割としての連携も進めることができました。

伴走型支援として、SW/ACが直接相談者の要望をもとに、チームづくりや進行管理、プロジェクトのコンセプトづくりなどに対応した昨年度に比べて、相談を発掘しに様々な場所へ出かけ、相談者にとって参考しやすい情報の提供や、活用しやすい窓口や人々をつなぐなど、人々のあいだの資源を豊かにしていくこと、すぐに要望を解決するのではなく関係性を深めていくことに重点を置くようになりました。

人々がつながり、新しい活動を生み出そうとするときには、異なる分野と出会うきっかけやそこにいる人々を想像できることも重要です。今年度はオンラインでの対話の場「談話室」を開催し、いつもの仕事や活動以外の場所で話を聞き合う機会も設けました。

2021年度 SW/AC によるソフトインフラの整備

- ・さがす：アウトリーチ／中間支援組織へのヒアリング／連携先の開拓
- ・きく：相談を聞く／対話の相手になる／多様な人が話を聞き合う機会をつくる
- ・わたす：参考資料や書類のひな形を提供する／事例共有の講座をひらく
- ・つなぐ：協働相手や見学場所を紹介し、仲介する

相談の流れ

- STEP 1 相談の受付**
問い合わせフォーム、メール、またはお電話でご相談をお寄せください
- STEP 2 面会**
相談内容に応じて、相談員と面会します
(※面会が必須ではありません)
- STEP 3 調整**
関係各所と連携し、相談内容に応じた対応をします
- STEP 4 回答**
相談内容に対する回答を行います(メールや電話の他、面会の場合もあります)

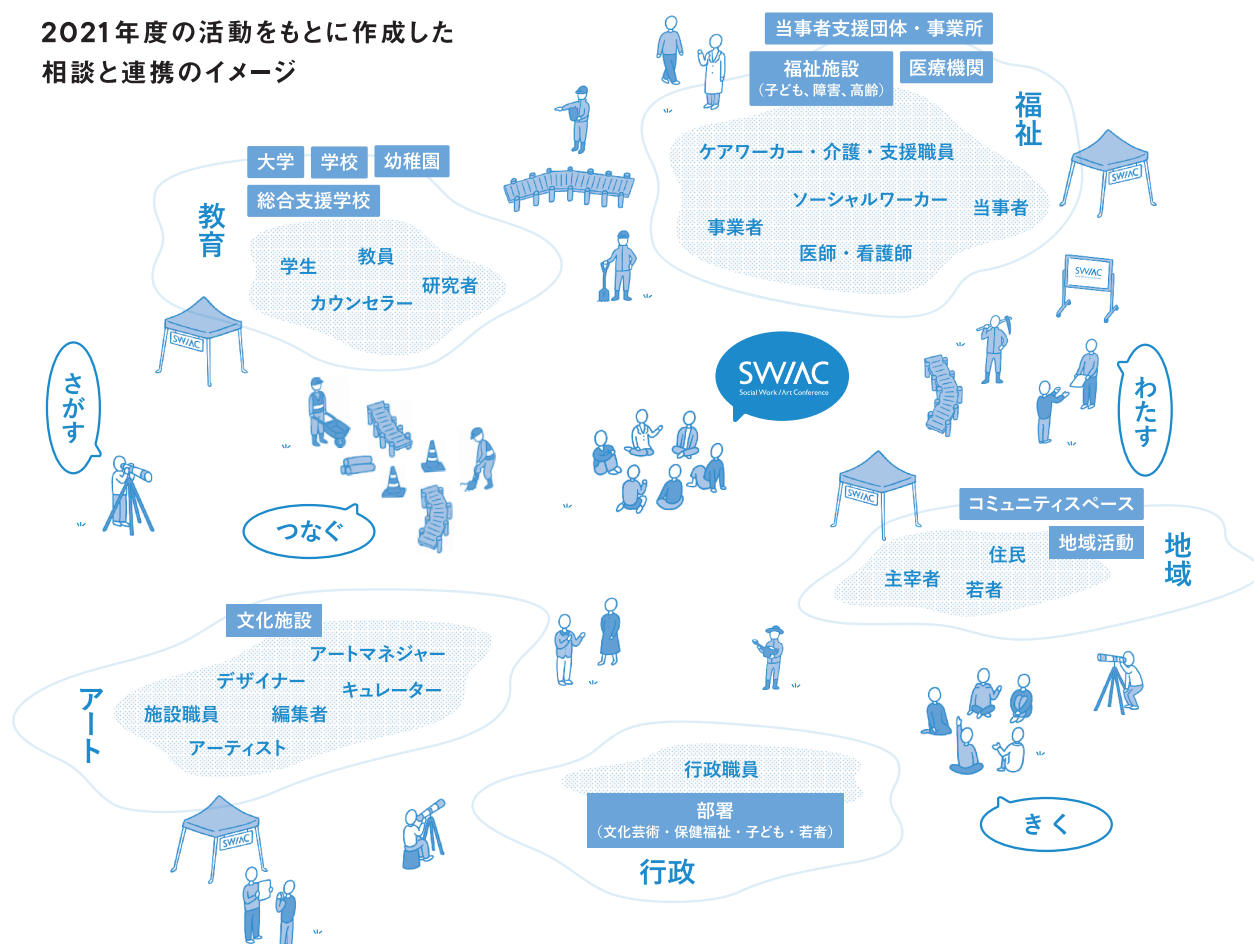
SW/AC
Social Work / Art Conference

Social Work / Art Conference (SW/AC)



〒601-8004 京都市南区東九条東山王町1 HAPS HOUSE
T 075-748-8575
swac@haps-kyoto.com
<http://haps-kyoto.com/swac/>

2021年度の活動をもとに作成した
相談と連携のイメージ



相談から具体化した事例 01

一般社団法人京都市老人福祉施設協議会より、「老い」や「死」とともにある「生」について多世代で知り、考えるための絵本を制作してみたいとの相談がありました。協議会メンバーとともに絵本プロジェクトを立ち上げ、コンセプトを練り上げ、チームづくりを担う役割をSW/ACが行いました。今年度末には絵本編集者・筒井大介さんとともに、作家・鹿子裕文さんと漫画家・森田りさんによる初の共作絵本「はなのちるちる」が発行、出版されることになりました。

作：鹿子裕文 絵：森田り
編集：筒井大介 装丁：椎名麻美
協力：Social Work / Art Conference (一般社団法人HAPS)
発行者：山岸孝啓 発行所：一般社団法人京都市老人福祉施設協議会
印刷・製本：丸山印刷株式会社 初版第1刷：2022年3月31日 定価／1,800円+税



協力事業

2021年度、HAPSが関わった
企画の一部を紹介します。

CONNECT⇄__ 障害のある人の「つくること」を巡るトークシリーズ

「実はよく知らないんだよ。だから聞いてみようと思う。(中原)」の声と手話による映像の展示

アートを通して多様性や共生社会について考えるプロジェクト「CONNECT⇄__」展において、「実はよく知らないんだよ。だから聞いてみようと思う。(中原)」の声と手話による映像の展示にSW/ACがプロジェクトチームとして協力しました。

2021年の「CONNECT⇄__」では、障害者アートあるいはアール・ブリュットという呼び方が発生した経緯を遡ることで、より深く「つくる」について探ることが試みられました。「実はよく知らないんだよ。だから聞いてみようと思う。(中原)」は、アーティストの中原浩大さんが「つくる」立場から、さまざまな関係者を訪ね、多くのことを教わっていくプロジェクトです。会期中は、京都市京セラ美術館の「光の広間」にてこのトークシリーズをもとにプロジェクトチームが制作した映像が上映されました。

CONNECT⇄__ 障害のある人の「つくること」を巡るトークシリーズ 「実はよく知らないんだよ。だから聞いてみようと思う。(中原)」 の声と手話による映像の展示

会期：2021年12月3日(金)～9日(木)10:00～18:00
会場：京都市京セラ美術館 本館 光の広間
休館日：月曜日
主催：文化庁／京都市京セラ美術館
協力：社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会／社会福祉法人全国手話研修センター／
Social Work / Art Conference (一般社団法人HAPS)



VOCA展2022 現代美術の展望—新しい平面の作家たち

HAPSが制作に協力した谷澤紗和子さんの《はいけい ちえこ さま》がVOCA佳作賞に選出されました。

会場：上野の森美術館
会期：2022年3月11日(金)～3月30日(水)
主催：「VOCA展」実行委員会／公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館



《はいけい ちえこ さま》アクリル、紙、解体された家屋の廃材・アクリル版



事業実績 ACHIEVEMENTS

相談受付数	アーティストから85件／支える人から119件／計204件
物件マッチング	コーディネート実現数2件／シェアスタジオへの入居実現数2件
広報	新聞17件／ウェブ74件／雑誌3件／その他4件／計98件
インターネット	ウェブサイトアクセス数129118件／Facebookフォロワー数3133件／Twitterフォロワー数4159件
視察	4件

主催事業

タイトル	開催日	会場	ゲスト等	共催等
HAPSスタジオ使用開始	2021/4/6～	HAPSスタジオ	禹歩／ガブリエ・パロンタン／小林棕／ヒスロム+和田寛司／宮木亜菜／本山ゆかり	
SW/AC「京都市内の福祉施設等の文化芸術活動の状況についてのアンケート調査報告書」公開	2021/4/21	HAPSウェブサイト		文部科学省科学研究補助金「アジアにおける社会包摂型アーツマネジメントモデル形成と応用(代表：中川眞)」
GA TALK 027「上海アートシーンの観察(2020～21前半)」by 金澤韻	2021/6/18	オンライン	金澤韻	京都芸術大学大学院
GA TALK 028「ELEPHANTS IN OUR LIVING ROOM：太平洋諸島の人々の抵抗、回復力、そして連帯ー日本およびアメリカ帝国をこえて」by グレグ・ドボルザーク	2021/7/3	オンライン	グレグ・ドボルザーク	京都芸術大学大学院
ALLNIGHT HAPS 2021「彼は誰の街に立つ」	2021/8/1～2022/2/5	HAPSオフィス	鈴木昭男／小川真生樹／村上慧／鬼海弘雄	
文化芸術による共生社会実現のためのアーツマネジメント講座2021「共生とはなにか」セミナー1(ひとり)と出会うこと	2021/8/27	オンライン	大川史織	
GA TALK 029「悟りの握り方(翻訳一時停止)」by チャールズ・リンゼイ(アーティスト)	2021/10/9	オンライン	チャールズ・リンゼイ	京都芸術大学大学院
文化芸術による共生社会実現のためのアーツマネジメント講座2021「共生とはなにか」セミナー2「分けない眼差しとつくること	2021/10/30	オンライン	青木陵子+伊藤存	
GA TALK 030「いちばん難しいのはシンプルであること」by リー・キット(アーティスト)	2021/11/8	オンライン	リー・キット	京都芸術大学大学院
文化芸術による共生社会実現のためのアーツマネジメント講座2021「共生とはなにか」セミナー3「ことば」との距離、(ことば)への期待	2021/11/27	オンライン	いしいしんじ／モハーチ ゲルゲイ	
[KYOTO ART TABLE 残す、つなげる、作り出す]	2021/12/3	Collabo Earth E9	今西善也／山本麻友美／小松千倫／谷澤紗和子／宮木亜菜／本山ゆかり／山城大督	
GA TALK 031「キュレーターとしての役割・発展」by 吉武美香(インディペンデント・キュレーター)	2021/12/11	オンライン	吉武美香	京都芸術大学大学院
GA TALK 032「インフラとその他の話」by ヒーマン・チョン(アーティスト)	2022/1/12	オンライン	ヒーマン・チョン	京都芸術大学大学院
京都市文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業 モデル事業 オープンラボ「かめのま」	2022/3/5～3/21	HAP HOUSE	前田耕平	

協力事業等

タイトル	開催日	会場	協力内容	主催
瀬尾夏美×いしいしんじ 公開トーク 映画「二重のまち／交代地のうたを編む」から考える	2021/4/5	浄土複合	機材協力	浄土複合
京都駅ビルピアノコンサート「春のひと時をクラシック音楽と共に」	2021/4/11	京都駅ビル7F 東広場北ピロティ	まちじゅうアートプロジェクト	京都駅ビル開発株式会社
Cuboid	2021/4/24	ニハ	まちじゅうアートプロジェクト	ニハ
Textures of Encounter	2021/4/3～4/25	VOU	まちじゅうアートプロジェクト	VOU
存在の耐えられない軽さ	2021/4/30～5/2	kumagusuk SAS	まちじゅうアートプロジェクト	kumagusuk SAS
Front View	2021/4/24～5/5	GOOD NATURE STATION	まちじゅうアートプロジェクト	GOOD NATURE STATION
意識のコンテナ	2021/5/2～5/9	yuge	まちじゅうアートプロジェクト	yuge
えるふぁ展	2021/5/20～5/24	THEATRE E9 KYOTO	まちじゅうアートプロジェクト	一般社団法人アーツシード京都
杭を打つ	2021/5/25～6/13	MEDIA SHOP I gallery2	まちじゅうアートプロジェクト	MEDIA SHOP
ラザキ珈琲 ソロライブ	2021/5/26	喫茶店 uzuビバレッヂ(オンライン配信)	まちじゅうアートプロジェクト	尾崎康平
暮らしランプ体操	2021/5/27	一般社団法人暮らしランプ「おばんざいとお酒 なかの邸」	まちじゅうアートプロジェクト	一般社団法人暮らしランプ
映像作品のためのプロダクト	2021/5/30～31	KAGANHOTEL	まちじゅうアートプロジェクト	KAGANHOTEL
キウチミュージックヒストリー 1973～2021	2021/6/2～6/23	京都岡崎蔦屋書店	まちじゅうアートプロジェクト	京都岡崎蔦屋書店
京都・文化芸術合同相談会	2021/6/5	京都芸術センターフリースペース／オンライン	相談対応	京都市文化芸術総合相談窓口(KACCO)
発表会	2021/6/19～26	Social Kitchen 2F	まちじゅうアートプロジェクト	Social Kitchen
三枝愛「尺寸の地」	2021/6/19～7/4	Bambinart Gallery	スタジオ使用(三枝愛)	Bambinart Gallery
ニューミュージケーション#4 小嶋晶・小林椋	2021/6/22～8/26	京都芸術センター	スタジオ使用(小林椋)	京都芸術センター
宮木亜菜：肉を束ねる	2021/6/29～10/11	京都市京セラ美術館 ザ・トリアングル	スタジオ使用(宮木亜菜)	京都市京セラ美術館
展覧会「window residency」	2021/7/7～7/24	すごす/センター/家/AIR windowresidency 特設ウェブサイト	まちじゅうアートプロジェクト	すごす/センター/家/AIR
石上真由子 ヴァイオリン チャペルコンサート	2021/7/24	ホテルグランヴィア京都	まちじゅうアートプロジェクト	ホテルグランヴィア京都
MIKADO2	2021/7/10～8/9	瑞雲庵	まちじゅうアートプロジェクト	「MIKADO2」展実行委員会
SjQ Radio 特別編「即興と設計」あるいは「即興的創造」	2021/7/28	京都バララックスレコード	まちじゅうアートプロジェクト	SjQ / Leftbrain
『リフレクティヴ・ノート(選集)』刊行記念トークイベント第2弾「田中功起×植松由佳」	2021/8/7	HAPS HOUSE	会場提供	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
ICC キッズ・プログラム 2021「チューンナップ じぶんをととのえる」	2021/8/7～22	NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] ギャラリーA	スタジオ使用(小林椋)	NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]
ストレンジャーによるしく	2021/8/20～9/12	金沢アートグミ ほか金沢市内15カ所	スタジオ使用(本山ゆかり)	金沢アートグミ／ストレンジャーによるしく実行委員会
Lost in Translation	2021/9/1～19	京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA	スタジオ使用(ガブリエ パロンタン)	京都市立芸術大学
キックオフシンポジウム「#わたしが好きになる人は/#The people I love are」	2021/9/11	オンライン	共催	京都精華大学 マイノリティの権利、特にSOGIをはじめとした〈性の多様性〉に関する知識と、それらを踏まえた表現倫理のリテラシーを備えたアートマネジメント人材育成プログラム「#わたしが好きになる人は/#The people_I_love_are」
ab-sence/ac-ceptance 不在の観測	2021/9/23～11/28	岐阜県美術館 展示室2	スタジオ使用(三枝愛)	岐阜県美術館

タイトル	開催日	会場	協力内容	主催
クィア・オブ・カラー批評—アメリカにおける非白人の知と経験	2021/10/10	オンライン	共催	京都精華大学 マイノリティの権利、特にSOGIをはじめとした(性の多様性)に関する知識と、それらを踏まえた表現倫理のリテラシーを備えたアートマネジメント人材育成プログラム「#わたしが好きになる人は/#The_people_love_are」
Re:Perspective	2021/10/12～10/24	graf porch	スタジオ使用(宮木亜葉)	graf porch
事例から考えるアートマネジメント オンライン講座I「アートの現場からハラメントをなくすために」	2021/10/12	オンライン	共催	京都市文化芸術総合相談窓口(KACCO)
事例から考えるアートマネジメント オンライン講座II「アートの現場における契約の知識」	2021/10/27	オンライン	共催	京都市文化芸術総合相談窓口(KACCO)
京都市立芸術大学 芸大祭 2021	2021/10/30～11/1	オンライン	協賛	京都市立芸術大学 / 京都市立芸術大学祭実行委員会
「CONNECT」ガブリエ・パロンタ「Chorós」	2021/12/2～5	京都芸術センター	スタジオ使用(ガブリエ・パロンタ)	文化庁 / 京都国立近代美術館
障害のある人の「つくること」を巡るトークシリーズ「実はよく知らないんだよ。だから聞いてみようと思う。(中原)」の声と手話による映像の展示	2021/12/3～9	京都市京セラ美術館 本館 光の広間	プロジェクトチーム協力(SW/AC)	文化庁 / 京都国立近代美術館
現代美術のポジション 2021-2022	2021/12/11～2022/2/6	名古屋美術館	スタジオ使用(本山ゆかり)	名古屋美術館 / 毎日新聞社
すごとと作品	2021/12/21～30	すごとセン(すごと/センター / 家/AIR)	スタッフ登壇	すごとセン(すごと/センター / 家/AIR)
「美整物 輝かせる時間の黄金」公開試写会	2021/12/28	シネ・ヌーヴォ	企画協力 / スタジオ使用(ヒスロム)	hyslom
完璧に抗う方法 -the case against perfection- 戸田祥子 / 三枝愛「波を掴み、地と歩む手立て」	2022/1/15～30	あをば荘	スタジオ使用(三枝愛)	図師雅人 / 藤林悠
ARTS CHALLENGE 2022 入選作品展	2022/1/22～2/6	愛知芸術文化センター	スタジオ使用(三枝愛)	国際芸術祭「あいち」組織委員会
Study: 大阪関西国際芸術祭	2022/1/28～2/13	グランフロント大阪 / 船場エクセルビル / その他	スタジオ使用(小林椋)	株式会社アートローグ
崇仁すくすくセンター(挿し木プロジェクト)2020-2021 活動報告展	2022/2/14～2/20	京都市下京いきいき市民活動センター「うるおい館」	企画協力	崇仁すくすくセンター実行委員会
VOCA展2022 現代美術の展望 - 新しい平面の作家たち -	2022/3/11～30	上野の森美術館	制作協力(谷澤紗和子) / スタジオ使用(本山ゆかり)	VOCA展実行委員会 / 公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館
本山ゆかり「この世、受け皿」	2022/3/18～4/16	Yutaka Kikutake Gallery	スタジオ使用(本山ゆかり)	Yutaka Kikutake Gallery
現在進行例から学ぶアートコレクティブのあり方: 合意形成、ビジョン、お金～ヒスロムの場合～	2022/3/19	京都芸術センター フリースペース	スタジオ使用(ヒスロム)	京都市文化芸術総合相談窓口(KACCO)

トーク等への参加

タイトル	開催日	会場	主催
京都・文化芸術合同相談会	2021/6/5	京都芸術センターフリースペース / オンライン	京都市文化芸術総合相談窓口
ふれあい共生館使用団体連絡会	2021/8/5	ふれあい共生館会議室 3	
art for all アーティストのための実践講座⑤ ケアとアートをめぐる諸問題を共に考える	2022/2/21	オンライン	art for all

掲載

タイトル	掲載日	媒体	分類	掲載内容	発行元
収集したモチーフから得たインスピレーションを元に作陶する坂本紬野子が個展を開催!	2021/4/2	BLAZEYVY	web	協力展示紹介	BLAZEYVY
出町座にて「瀬尾夏美×いしいしんじ 公開トーク 映画『二重のまち／交代地のうたを編む』から考える」が4月5日(月)に開催!	2021/4/2	KYOTO CMEX ポータルサイト	web	協力イベント紹介	KYOTO Cross Media Experience 実行委員会
瀬尾夏美×いしいしんじ 公開トーク 映画『二重のまち／交代地のうたを編む』から考える	2021/4/5	出町座ウェブサイト	web	協力イベント紹介	出町座
京都・まちじゅうアートプロジェクト 京都駅ビルピアノコンサート「春のひと時をクラシック音楽と共に」	2021/4/13	京都駅ビルインフォメーション	その他	協力イベント紹介	京都駅ビル開発株式会社
「旅中の天 旅にでて、また旅にでる」展 飯川雄大、川田知志、黒田大スケ 開催中	2021/4/13	RC HOTEL 京都八坂 BLOG	web	協力展示紹介	RC HOTEL 京都八坂
「第2回京都の芸術家等の活動状況に関するアンケート」及び「京都市内の福祉施設等の文化芸術活動の状況についてのアンケート」調査結果について	2021/4/14	京都市情報館	web	SW/AC アンケート結果掲載	京都市
元小学校の空き教室を活用した制作室(HAPSスタジオ)を使用する若手芸術家の決定について	2021/4/16	京都市情報館	web	スタジオ使用アーティスト選考結果掲載	京都市
第3回京都文学賞 新たな最終選考委員の就任及び新規協力出版社、HAPSと連携した募集リーフレット等の発行について	2021/4/28	京都市情報館	web	「芸術家×仕事」事例紹介	京都市
西原彩香個展「存在の耐えられない軽さ」	2021/4/28	kumagusukuウェブサイト	web	協力展示紹介	kumagusuku
京都文学賞あす募集開始 最終選考委員に作家・井上荒野さんら3人	2021/4/29	京都新聞	新聞	「芸術家×仕事」事例紹介	京都新聞社
崇仁の地蔵様 巨大幕に 下京 再開発で移転、記憶つむぐ	2021/5/1	京都新聞	新聞	モデル事業紹介	京都新聞社
京都市が元楽只小 複合施設に再整備	2021/5/7	京都新聞	新聞	ふれあい共生館紹介	京都新聞社
崇仁地区 歴史伝える試み	2021/5/8	京都新聞	新聞	モデル事業紹介	京都新聞社
5/20日(木) - 24(月)「えるふぁ展」開催のおしらせ	2021/5/15	アーツシード京都ウェブサイト	web	協力展示紹介	一般社団法人アーツシード京都
崇仁地区をめぐる展示(前編)「タイトルとホコラとツーリズム」Season8 七条河原じゃり風流	2021/5/15	artscape	web	モデル事業レビュー	大日本印刷株式会社
京都 文化芸術合同相談会	2021/5/26	京都芸術センターイベントスケジュール	web	協力事業紹介	京都芸術センター
京都・文化芸術合同相談会の開催について	2021/5/26	京都市情報館	web	協力事業紹介	京都市
京都市立高校紹介パンフレット「市立高校の歩きかた」の発行について	2021/5/31	京都市教育委員会	web	「芸術家×仕事」事例紹介	京都市
木内貴志「キウチミュージックヒストリー1973-2021」作品展示	2021/6/2	京都岡崎蔦屋書店ウェブサイト	web	協力展示紹介	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
展覧会「ニューミュージケーション#4 小嶋晶・小林椋」	2021/6/3	京都芸術センターイベントスケジュール	web	協力展示紹介	京都芸術センター
展覧会「ニューミュージケーション#4 小嶋晶・小林椋」	2021/6/3	デザイン情報サイトJDN	web	協力展示紹介	株式会社JDN
「尺寸の地」三枝愛	2021/6/8	Bambinart Galleryウェブサイト	web	協力展示紹介	Bambinart Gallery
三枝愛「尺寸の地」	2021/6/8	TOKYO ART BEAT	web	協力展示紹介	株式会社アートビート
三枝愛展「尺寸の地」	2021/6/8	3331 Arts Chiyoda ウェブサイト	web	協力展示紹介	3331 Arts Chiyoda
EVENT ニューミュージケーション #4 小嶋晶・小林椋	2021/6/9	ANTENNA	web	協力展示紹介	ANTENNA
ザ・トライアングル 宮木亜菜：肉を束ねる	2021/6/10	京都市京セラ美術館ウェブサイト	web	協力展示紹介	京都市京セラ美術館
GLOBAL ART TALK 027 金澤 韻「上海アートシーンの観察(2020～21前半)」	2021/6/14	京都芸術大学イベント情報	web	GA TALK紹介	京都芸術大学

タイトル	掲載日	媒体	分類	掲載内容	発行元
木曾路「発表会」	2021/6/15	Social Kitchen ウェブサイト	web	協力展示紹介	Social kitchen
人権学習施設 移転オープン	2021/6/16	京都新聞	新聞	ふれあい共生館紹介	京都新聞社
"石上真由子が奏でるヴァイオリンの美しい調べをお好きなレストランでのお食事とともに「石上真由子 ヴァイオリン チャペルコンサート」開催および販売開始について"	2021/6/21	ホテルグランヴィア京都ウェブサイト	web	協力イベント紹介	株式会社ジェイアール西日本ホテル開発
GLOBAL ART TALK 028 グレグ・ドボルザーク「ELEPHANTS IN OUR LIVING ROOM: 太平洋諸島の人々の抵抗、回復力、そして連帯—日本およびアメリカ帝国をこえて」	2021/6/28	京都芸術大学イベント情報	web	GA TALK 紹介	京都芸術大学
多様な交流 生まれる場に 元楽只小跡地に 複合施設「ふれあい共生館」	2021/6/29	京都新聞夕刊	新聞	ふれあい共生館紹介	京都新聞社
ザ・トライアングル 宮木亜葉: 肉を束ねる	2021/6/29	美術手帖 ウェブ版	web	協力展示紹介	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
「ALLNIGHT HAPS 2021」 「彼は誰の街に立つ」	2021/7/21	京都で遊ぶART	web	ALLNIGHT HAPS 2021「彼は誰の街に立つ」紹介	株式会社エクザム
ICC キッズ・プログラム 2021 「チューンナップ じぶんをととのえる」	2021/7/24	NTT インターコミュニケーションセンターウェブサイト	web	協力展示紹介	NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]
常識問い直し相対化 小嶋晶・小林椋展 新進作家が現実直視	2021/7/24	京都新聞	新聞	協力展示紹介	京都新聞社
KCUA OPEN CALL EXHIBITIONS "Lost in Translation"	2021/7/30	京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA ウェブサイト	web	協力展示紹介	京都市立芸術大学
見て・知って人権 京の学生が行く 第15回 ツラッティ千本(ふれあい共生館内)	2021/8/1	人権総合情報誌きょう☆COLOR vol.15	雑誌	ふれあい共生館紹介	京都市文化市民局 共生社会推進室
田中功起と植松由佳が登壇。「リフレクティヴ・ノート」トークイベント「コロナ禍における展覧会づくりと制作実践」が開催	2021/8/2	美術手帖 ウェブ版	web	協力イベント紹介	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
「ストレンジャーによるしく」。若手アーティストによる移動型芸術祭の第3回が金沢で開催	2021/8/5	美術手帖 ウェブ版	web	協力展示紹介	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
ICC キッズ・プログラム 2021 「チューンナップ じぶんをととのえる」	2021/8/6	artscape	web	協力展示紹介	大日本印刷株式会社
「ICC キッズ・プログラム 2021 「チューンナップ じぶんをととのえる」	2021/8/7	TOKYO ART BEAT	web	協力展示紹介	株式会社アートビート
気鋭の若手作家たちによる移動型展覧会「ストレンジャーによるしく」、第三回は金沢13箇所を舞台に開催	2021/8/12	EYESCREAM	web	協力展示紹介	株式会社スペースシャワーネットワーク
ストレンジャーによるしく @ 金沢アートグミほか金沢市内13カ所	2021/8/16	ART iT	web	協力展示紹介	株式会社アートイット
ストレンジャーによるしく	2021/8/20	金沢アートグミイベント情報	web	協力展示紹介	認定NPO法人金沢アートグミ
ストレンジャーによるしく	2021/8/20	TOKYO ART BEAT	web	協力展示紹介	株式会社アートイット
Lost in Translation @ 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA	2021/8/26	ART iT	web	協力展示紹介	株式会社アートビート
Lost in Translation	2021/9/1	美術手帖 ウェブ版	web	協力展示紹介	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
路上の音体感 街を再発見	2021/9/4	京都新聞	新聞	ALLNIGHT HAPS 2021「彼は誰の街に立つ」紹介	京都新聞社
ab-sence/ac-ceptance 不在の観測	2021/9/10	岐阜県美術館ウェブサイト	web	協力展示紹介	岐阜県美術館
「ALLNIGHT HAPS 2021」 「彼は誰の街に立つ」 #2 小川真生樹	2021/9/18	TOKYO ART BEAT	web	ALLNIGHT HAPS 2021「彼は誰の街に立つ」紹介	株式会社アートビート
大学院グローバル・ゼミのゲスト講師によるトーク第29回 悟りの撮り方(翻訳一時停止)	2021/9/23	京都芸術大学イベント情報	web	GA TALK 紹介	京都芸術大学
京都市文化芸術総合相談窓口(KACCO) 事例から考えるアートマネジメント: オンライン講座I、II	2021/9/28	公益財団法人 京都市芸術文化協会	web	共催イベント紹介	公益財団法人 京都市芸術文化協会
事例から考えるアートマネジメントI、II	2021/9/29	京都文化芸術総合相談窓口(KACCO) ウェブサイト	web	共催イベント紹介	公益財団法人 京都市芸術文化協会
失われた存在、輪郭確かめる 岐阜県美術館「不在の観測」展	2021/9/29	岐阜新聞Web	web	協力展示紹介	岐阜新聞社

タイトル	掲載日	媒体	分類	掲載内容	発行元
京都市文化芸術総合相談窓口(KACCO)事例から考えるアートマネジメント：オンライン講座I、II	2021/10/1	京都芸術センターイベントスケジュール	web	共催イベント紹介	京都芸術センター
ツラッティ千本 人権資料展示施設の未来	2021/10/1	GLOBE	雑誌	ふれあい共生館紹介	公益財団法人世界人権問題研究センター
「翻訳」の不可能性が導く先に。新井保洋評「Lost in Translation」展	2021/10/21	美術手帖 ウェブ版	web	協力展示レビュー	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
タイトルとホコラとツーリズム シーズン8 七条河原じり風流	2021/11/6	崇仁〜ひと・まち・れきし〜	その他	モデル事業紹介	崇仁発信実行委員会
国際芸術祭「あいち2022」プレイベントARTS CHALLENGE 2022の入選作品展を開催します	2021/11/18	国際芸術祭あいち2022ウェブサイト	web	協力展示紹介	国際芸術祭「あいち」組織委員会
アートとともに、社会のインフラを整える～SW/AC 奥山理子・小泉朝未～	2021/11/19	U35-KYOTO	web	SW/AC事業紹介	U35-KYOTO事務局
文化庁と連携して開催 アートを通して、共生・多様性を考える「CONNECT」	2021/12/1	きょうと市民しんぶん	その他	協力事業紹介	京都市広報担当
アートでつながる社会 障害のあるなしを超えて	2021/12/1	京都新聞	新聞	協力事業紹介	京都新聞社
共生 つなぐ 考える 社会 障害ある人の創作知りたい	2021/12/8	京都新聞	新聞	協力展示紹介／寄稿(奥山)	京都新聞社
GLOBAL ART TALK Q31 吉竹美香氏「キュレーターとしての役割・発展」	2021/12/8	京都芸術大学イベント情報	web	GA TALK紹介	京都芸術大学
白菜を育てていたつもりが、いつのまにかモンシロチョウの幼虫の家族を養っていた	2021/12/10	みんなのミマガジン	web	ALLNIGHT HAPS 2021「彼は誰の街に立つ」紹介	シミマ社
京都駅前音楽噴水「AQUA FANTASY」のリニューアルについて	2021/12/10	京都市情報館	web	「芸術家×仕事」事例紹介	京都市
村上慧展	2021/12/11	京都新聞	新聞	ALLNIGHT HAPS 2021「彼は誰の街に立つ」紹介	京都新聞社
現代美術のポジション 2021-2022	2021/12/11	美術手帖 ウェブ版	web	協力展示紹介	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
artscapeレビュー ALLNIGHT HAPS 2021「彼は誰の街に立つ」#3 村上慧(広告収入を消化する)	2021/12/15	artscape	web	ALLNIGHT HAPS 2021「彼は誰の街に立つ」村上慧展レビュー	大日本印刷株式会社
11年ぶりリニューアル 音楽噴水 ロック・ポップスも	2021/12/18	京都新聞	新聞	「芸術家×仕事」事例紹介	京都新聞社
GLOBAL ART TALK Q32 ヒーマン・ジョン氏「インフラとその他の話」開催のお知らせ	2021/12/22	京都芸術大学イベント情報	web	GA TALK紹介	京都芸術大学
hyslomによる新作映画「美整物 輝かせる時間の黄金」の公開試写会、シネ・ヌーヴォにて。作業場の解体工事に参加しその過程を記録した作品。	2021/12/23	paper C	web	協力イベント紹介	一般財団法人(非営利型)おおさか創造千島財団
INTERVIEW：hyslom/ヒスロム この質感のまま生きていく	2021/12/27	paper C	web	スタジオアーティスト紹介	一般財団法人(非営利型)おおさか創造千島財団
ALLNIGHT HAPS 2021「彼は誰の街に立つ」	2021/12/28	美術手帖 ウェブ版	web	ALLNIGHT HAPS 2021「彼は誰の街に立つ」紹介	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
ライター 4人が語る2021年の印象的だった展覧会は？【座談会】アート界ゆくゆく年(前編)	2021/12/30	TOKYO ART BEAT	web	HAPS、SW/AC紹介	株式会社アートビート
完璧に抗う方法 - the case against perfection - 戸田祥子 / 三枝愛「波を掴み、地と歩む手立て」	2022/1/9	美術手帖 ウェブ版	web	協力展示紹介	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
「完璧に抗う方法 - the case against perfection - 戸田祥子 / 三枝愛「波を掴み、地と歩む手立て」	2022/1/9	TOKYO ART BEAT	web	協力展示紹介	株式会社アートビート
栄で「アーツチャレンジ2022」に8組が出展 国際芸術祭「あいち2022」プレ企画で	2022/1/20	サカエ経済新聞	web	協力展示紹介	株式会社クーゲート
「京都文化芸術都市創生審議会」の市民委員募集について	2022/1/21	京都市情報館	web	「芸術家×仕事」事例紹介	京都市

タイトル	掲載日	媒体	分類	掲載内容	発行元
下京・崇仁地区で「プロジェクト」地域の樹木 挿し木で育て	2022/1/25	京都新聞	新聞	協力事業紹介	京都新聞社
若手芸術家 空間を作品に	2022/1/26	中日新聞	新聞	協力展示紹介	中日新聞社
ケアを起点に考える、新しい社会のかたち 岡野八代×杉田敦×田中功起	2022/2/1	美術手帖	雑誌	座談会収録会場提供	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
「絵画の理由」三瓶玲奈・本山ゆかり・楊博	2022/2/2	美術手帖 ウェブ版	web	協力展示紹介	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
京都・崇仁地区の記憶を未来につなぐ。「挿し木プロジェクト」活動報告展、2022年2月14日から	2022/2/7	こここ	web	協力事業紹介	株式会社マガジンハウス
artscapeレビュー「ミニマル／コンセプチュアル ドロテ&コンラート・フィッシャーと1960-70年代美術」展ほか	2022/2/15	artscape	web	協力展示レビュー	大日本印刷株式会社
崇仁すくすくセンター（挿し木プロジェクト）2020年～2021年の活動報告展』	2022/2/16	崇仁発信実行委員会のブログ	web	協力事業紹介	崇仁発信実行委員会
変貌する街の歴史 樹木で紡ぐ	2022/2/18	京都新聞	新聞	協力事業紹介	京都新聞社
現在進行例から学ぶアートコレクティブのあり方：合意形成、ビジョン、お金～ヒスロムの場合～	2022/2/24	京都市文化芸術総合相談窓口(KACCO)ウェブサイト	web	協力イベント紹介	京都市文化芸術総合相談窓口(KACCO)
制作スタジオ使用者の募集について	2022/2/25	京都市情報館	web	スタジオ募集紹介	京都市
オープンラボ「かめのま」前田耕平	2022/3/2	京都で遊ぼうART	web	モデル事業紹介	株式会社エクサム
上野の森美術館で「VOCA展2022」がスタート。新進気鋭の作家たちが見つめる平面の現在地	2022/3/11	美術手帖 ウェブ版	web	協力展示紹介	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
特集 VOCA展2022	2022/3/11	artノ森	その他	協力展示紹介	公益財団法人日本美術協会／上野の森美術館
本山ゆかり「この世、受け皿」	2022/3/11	TOKYO ART BEAT	web	協力展示紹介	株式会社アートビート
高瀬川の生物画など展示 南区 映像作品や収集陶片も	2022/3/16	京都新聞	新聞	モデル事業紹介	京都新聞社
前田耕平展	2022/3/19	京都新聞	新聞	モデル事業紹介	京都新聞社
本山ゆかり この世、受け皿	2022/3/19	Yutaka Kikutake Gallery ウェブサイト	web	協力展示紹介	Yutaka Kikutake Gallery
世界と京都をつなぐ「鳶の壁」を目指してー「ICA 京都」設立発表会レポート	2022/3/25	瓜生通信	web	主催事業紹介	京都芸術大学



HAPS 実行委員会 (敬称略)

実行委員長

遠藤水城 (キュレーター)

副実行委員長

佐藤知久 (京都市立芸術大学芸術資源研究センター専任研究員 / 教授)

井上えり子 (京都女子大学家政学部生活造形学科教授)

加須屋明子 (京都市立芸術大学美術学部教授)

勝冶真美 (京都芸術センタープログラムディレクター)

後藤直 (特定非営利活動法人くらしネット21代表 / 佛教大学教育学部教育学科教授)

後藤創平 (京都新聞編集局運動部記者)

後藤結美子 (京都市美術館学芸課学芸員)

小林正典 (京都市東山区役所地域力推進室まちづくり推進課長)

菅谷幸弘 (六原自治連合会事務局長)

砂川敬 (京都市文化市民局文化芸術都市推進室室長)

竹内万里子 (京都芸術大学芸術学部美術工芸学科長)

松本泰章 (嵯峨美術大学芸術学部造形学科長)

矢津吉隆 (美術家 / kumagusuku 代表)

山田創平 (京都精華大学人文学部教授)

アドバイザー (順不同、敬称略)

建畠哲 (京都芸術センター館長 / 多摩美術大学学長)

椿昇 (京都芸術大学芸術学部美術工芸学科教授)

島本浣 (京都精華大学芸術学部名誉教授)

名和晃平 (アーティスト)

高嶺格 (アーティスト)

小山登美夫 (小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役)

松尾恵 (MATSUO MEGUMI+VOICE GALLERY pfs/w 代表)

吉岡洋 (京都大学こころの未来研究センター特定教授)

潮江宏三 (京都市立芸術大学名誉教授)

吉田良比呂 (京都市副市長)



遠藤水城

一般社団法人 HAPS

代表理事：遠藤水城

理事：藏原藍子 / 四元秀和

監事：植木克明

事務局：石井絢子 岡永遠 櫻岡聡 沢田朔

Social Work / Art Conference (SW/AC)

ディレクター：奥山理子

アシスタントコーディネーター：小泉朝未



左から櫻岡聡 沢田朔 小泉朝未 奥山理子 藏原藍子 石井絢子 岡永遠

2021年度文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
京都市「若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくり事業」

HAPS事業報告書 2021年度

発行日 2022年3月31日
発行元 一般社団法人HAPS
企画 一般社団法人HAPS事務局
編集 松永大地
デザイン マエダユウキ
イラストレーション マエダユウキ
撮影 中谷利明 前谷開 前端紗季 守屋友樹
印刷 株式会社グラフィック
協力 あじき路地、青木陵子+伊藤存、いしいしんじ、石角美帆、今西善也、
一般社団法人京都市老人福祉施設協議会、禹歩、大川史織、
ガブリエ パロンタン、金澤韻、河原功也、グレッグドボルザーク、
京都市産業観光局観光MICE推進室、小林棕、
(株)フロンティアエンタープライズ、ヒスロム+和田寛司、前田耕平、宮木亜菜、
村上慧、本山ゆかり、モハーチ ゲルゲイ、山田創平、吉田亮人、
(株)UMMM KIWI(P21 図)

一般社団法人HAPS

〒605-0841 京都市東山区大和大路通五条上る山崎町339
339 Yamazaki-cho, Higashiyama-ku, Kyoto 605-0841, JAPAN
E-MAIL info@haps-kyoto.com
TEL 075 525 7525
FAX 075 525 7522
<http://haps-kyoto.com>

HAPS



HAPS
HIGASHIYAMA
ARTISTS
PLACEMENT
SERVICE

事業報告書 2021年度